



なら燈花会2006

百日紅と記念館

9月に入りました。日中の気温、陽射しにはまだまだうんざりしますが、明け方はひんやりとしてきました。いつしか大学構内のセミの大合唱も消えておりません。文学部北棟南側のイチヨウの実もほんのり黄色くなってきました。 - 9月1日配信の奈良女子大学メールマガジン069号より転記 -

1. 産学官連携推進部門活動報告

産学官連携特任教授 花内美佐子氏（7/6付）

本学の産学官連携を推進するため、本学卒業生である独立行政法人日本貿易保険大阪支店営業グループ長（近畿経済産業局より出向中）花内美佐子氏が産学官連携特任教授に7月6日付で委嘱されました（任期は平成19年7月5日まで）。

近畿経済産業局との懇談会開催（8/29）

近畿経済産業局産学官連携推進課より3名が来学されました。産学官連携推進課の業務紹介や、本学より事前に要望として出していました「共同研究、受託研究契約における・実施料（不実施補償）の捉え方・秘密保持・研究に参画する学生の扱い」の説明をいただいた後、大学の概略紹介と、予定の1時間半はあっという間に過ぎました。今後とも検討分野を選択し実りある連携を目指す予定です。



会議開催経緯説明：
花内産学官連携特任教授



奈良女子大学産学官連携推進部門



近畿経済産業局のみなさん

近畿経済産業局 実務者会議出席（7/25）

平成18年度第一回大学等連携推進実務者会議に出席しました。今回は産学官連携が進展するに伴って、知的財産や秘密保持の取り扱い、その他契約交渉を行ううえで出てきている課題について大学・企業・弁護士などでワーキンググループを作り討論を重ねた結果報告がなされました。間接経費額や特許の取扱に関しては大学間で差異がでてきており、企業に対して詳細にかつ明確な回答ができる必要があるといえます。また、外国での産学官連携と単純比較した場合、日本の大学は企業の下請け的な連携をしているように思えるという大学からの発言もあり、初期研究計画立案の重要性がでてきています。学生の守秘義務については、企業より「守秘義務をきちんと結んだ教育をされた学生は違う会社においても魅力的だ」と採用時のマイナスイメージを払拭させる回答がありました。冊子「産学官連携における実務上の課題とその解決に関する調査報告書」にまとめられています。産学官連携コーディネーター（3734）に連絡いただければ貸し出しいたします。

また、大学の抱えた様々の産学連携の問題事例が掲載された「成功・失敗事例に学ぶ産学官連携の新たな展開に向けて」という冊子も配布されました。

第15回元気城下町に参加(7/6)

やまと郡山城ホールにて開催された第15回元気城下町クラブへ参加いたしました。今回は、大和郡山産の「丸なす」などの地元野菜の紹介があり、全国に向け、金魚だけでなく「大和野菜」も発信していきたいという意気込みが伝わってきました。なお、通例となっている異業種間での情報及び名刺交換会も活発に行なわれ、本学も積極的に奈良女子大学をアピールしてきました。

奈良県工業技術センター研究発表会に参加(7/20)

平成18年度奈良県工業技術センターの研究発表会に出席しました。各チーム(食品・毛皮革技術、繊維・高分子技術、機械・電子・情報技術)より11件の研究発表のほか、ものづくりオープンラボ事業参画企業の成果2件の報告です。http://www.niit.pref.nara.jp/publication/research_report/index.htmlには工業技術センターの研究成果が紹介されています。ものづくりオープンラボの公募についてもまたご紹介していきます。

理化学研究所を訪問(8/8)

池原理学部長、鍛冶社会連携センター長が、独立行政法人・理化学研究所(本所・和光市)の坂田東一理事を表敬訪問、研究施設の見学・討論を行いました。坂田理事には理化学研究所の状況をご説いた後、中野生体膜研究室、和田超分子科学研究室を見学させていただき、討論を行いました。中野生体膜研究室では、時代の先端技術の粋を集めたミクロな世界の動的状態観察装置を駆使した研究、和田超分子科学研究室では、生命の機構に学んだ新しい分子情報科学・物質材料科学の大規模な推進などに大きな刺激を受けました。

知的財産権制度説明会に参加(8/23)

平成18年度知的財産権制度説明会(初心者向け)に参加しました。県内企業、公設試、大学等の知的財産部門担当者及び研究者が数多く参加され、特許庁職員による知的財産制度の説明(法改正に伴う変更点含む)の講義を受けました。また、途中の休憩時間を利用し、発明協会奈良県支部の方と情報交換を行なうことができ、大変有意義なものとなりました。

2. 各種公募情報

公募情報についてはリアルタイムに
下記WEBにて随時公開中です。

<http://koto3.nara-wu.ac.jp/kenkyu/kakenjosei.html>

(財)内藤記念科学振興財団

第1回内藤記念女性研究者研究助成金

【学内締め切り】～平成18年9月15日

【問い合わせ】<http://www.naito-f.or.jp>

【助成対象】人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究を行う女性研究者に対して、出産・育児によって研究が中断した際の研究現場への復帰と研究業績を挙げることを支援する目的で、研究に必要な経費を補助する。

【応募要件】出産日から職場復帰(予定日)までが3年以内の女性研究者

【助成金額】300万円/年の3年間

(財)内藤記念科学振興財団 第1回内藤記念フェロースhip(サバティカルリーブ)

【学内締め切り】～平成18年11月6日(冬季分)

【問い合わせ】<http://www.naito-f.or.jp>

【助成対象】人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において、研究実績をあげた中堅研究者に対して、一定期間異なる文化圏に滞在することによって以後の研究に飛躍的な発展を期待し、国内外(主として海外)の大学等研究機関に滞在するための渡航費、経費ならびに研究費を補助

【助成金額】月額25万円

(財)明治安田厚生事業団 H18年度健康医科学研究助成

【学内締め切り】～平成18年10月11日

【問い合わせ】<http://www.tai-ken.jp/josei.html>

【助成対象】積極的な健康の維持増進に活用できる研究課題

【応募要件】40歳未満の研究者(博士課程以上)

【助成金額】100万円程度/1件

公益信託 福原記念英米文学研究助成基金 H18年度研究助成金

【締め切り】～平成18年10月31日(必着)

【問い合わせ】三菱信託銀行リテール受託業務部 公益信託グループ [電話] 03-3212-1211(代表)

【助成対象】若手・中堅の英米文学研究者を助成し、もって英米文学研究の振興発展に寄与する

【助成金額】研究助成 40万円 出版助成 100万円

(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団 2006年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年9月8日

【問い合わせ】<http://www.kyowa.co.jp/csr/community/kato/index.html>

【助成対象】A.研究助成 バイオサイエンス分野の基礎的研究における独創的かつ先駆的研究

a.メディカルサイエンス分野 / b.バイオテクノロジー分野

B.奨励研究助成 生物機能を利用した物質生産技術に関わる研究、機能性食品及びその素材に関わる研究、環境・エネルギーに関わる研究

【応募要件】A.男性40歳以下、女性45歳以下

B.男性35歳以下、女性40歳以下(H18.9.30現在) * 国外での研究は対象外

【助成金額】A.200万円/件 B.100万円/件

(財)人工知能研究振興財団 平成18年度人工知能に関する研究助成

【締め切り】～平成18年9月30日(必着)

【問い合わせ】<http://www.airpf.or.jp/jyoseio18.htm>

【助成対象】人工知能及びその関連技術分野の高度化に関する研究 2年以内

【応募要件】特に、産学(官)研究共同体からの提案を積極的に支援します。

【助成金額】上限100万円/1件

(財)放送文化基金 H18年度助成・援助

【公募時期】～平成18年10月13日

【問い合わせ】<http://www.hbf.or.jp/grants/18youkou.html>

【助成対象】放送に関する人文・社会科学的な調査・研究、文化的な事業

【助成金額】 上限300万円

(財)家庭経済研究所 2007年度研究新興助成事業

【公募時期】～平成18年11月30日(郵送による必着)

【問い合わせ】<http://www.kakeiken.or.jp/operation/notice.html>

【助成対象】家計・家族・生活に関わる研究全般

【助成金額】原則として100万円、50万円のうちのいずれかを限度

【応募要件】40歳未満の専任教員(助手または専任講師)、45歳未満の非常勤講師または大学院生(大学院研究生を含む)。いずれも各締切日現在。

(財)発酵研究所 H19年度研究助成

【公募時期】～平成18年9月30日(着)

【問い合わせ】http://www.ifo.or.jp/research/c_index.html

【助成対象】A.微生物の分類学的研究および培養株の保存に関する研究

B.健康や環境に関与する微生物の研究：H19年度～3年まで継続可

【助成金額】A.上限300万円/年 B.上限500万円/年

(財)旭硝子財団 H19年度人文・社会科学系研究助成

【学内締め切り】～平成18年9月15日

【問い合わせ】<http://www.af-info.or.jp/jpn/subsidy/social/index-2006.htm>

【助成対象】持続可能性を保障する社会システム A.特定研究 2年 B.奨励研究 1又は2年

【助成金額】A.100～200万円/件 B.100万円/件

【応募要件】B.45歳以下(H18.9.29現在)

(財)近畿移動無線センター H18年度モバイル・ワイヤレス研究助成

【公募時期】～平成18年9月30日(消印有効)

【問い合わせ】<http://www.kmrc.or.jp/kenkyujosei>

【助成対象】陸上移動通信一般に関する研究 3年以内

【助成金額】上限200万円/年

【応募要件】S36.4.1以降生まれの研究者

(財)福武学術文化振興財団 H18年度歴史学・地理学助成

【学内締め切り】～平成18年9月19日

【問い合わせ】http://www.fukutake.or.jp/science/assist/history_tiri.html

【助成対象】歴史学・地理学

【助成金額】上限150万円/件

【応募要件】非常勤講師、博士課程修了者(博士学位取得者)も応募可

(財)科学技術融合振興財団 H18年度助成金・補助金応募

【公募時期】～平成18年10月13日

【問い合わせ】<http://www.fost.or.jp/>

【助成対象】シミュレーション&ゲーミングに関する研究

課題A(研究助成)シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

課題B(研究助成)情報技術、ネットワーク技術を応用したシミュレーション&ゲーミングによる
学習用ソフトウェアの試作(学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓発活動)

課題C(補助金)シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究

【助成金額】(A,B)50～150万円/件 (C)20～50万円/件

【応募要件】課題Cは若手研究者(大学院生・助手等)を対象とする

(財)福武学術文化振興財団 H18年度瀬戸内海文化研究・活動支援助成

【学内締め切り】～平成18年9月19日

【問い合わせ】<http://www.fukutake.or.jp/science/assist/setouchi.html>

【助成対象】瀬戸内海地域の「文化力」の向上に寄与する調査・研究・活動

【助成金額】100万円/件

(独)日本万国博覧会記念機構 H19年度基金助成金募集

【学内締め切り】～平成18年9月30日(消印有効)

【問い合わせ】http://fund.expo70.or.jp/guideline/about_h19.html

【助成対象】博覧会の成功を記念するにふさわしい文化的活動

【助成金額】50万円/件

旅の文化研究所 H19年度公募研究プロジェクト

【公募時期】～平成18年10月31日(消印有効)

【問い合わせ】<http://www.tabinobunka.com/>

【助成対象】移動・旅・観光に関連する諸問題

【応募要件】大学院生、大学又は大学院に籍を置く研究生

【助成金額】上限60万円/件

(財)花王芸術・科学財団 H19年度科学技術研究助成

【学内締め切り】～平成18年9月8日

【問い合わせ】<http://www.kao-foundation.or.jp/kagaku/boshu.html>

【助成対象】「表面の科学」の化学・物理学分野と医学・生物学分野の若い研究者の、未来を拓く
独創的、先導的な研究に対し助成

【応募要件】35歳以下(H19.4.1現在)

【助成金額】総額1000万円(1件100万円)

(「表面の科学」の化学・物理学分野 5件、医学・生物学分野 5件を原則とします)

(財)中山隼雄科学技術文化財団 H18年度研究助成

【公募時期】～平成18年10月16日(消印有効)

Aについて所属長の推薦が必要な場合は10/2までに研究協力係まで申請書を提出願います

【問い合わせ】http://www.nakayama-zaidan.or.jp/grant_collect.html

【助成対象】A.ゲームの分野の研究助成研究 3年まで延長可 / B.「人間と遊び」に関する研究

【助成金額】A.100～500万円/年B.上限100万円

(財)日本ユニフォームセンター H18年度ユニフォーム基礎研究助成

【公募時期】～平成18年10月31日(必着)

学長推薦が必要な場合は10/17までに研究協力係まで申請書を提出願います

【問い合わせ】<http://www.nuc.or.jp/gaiyo.html>

【助成対象】ユニフォームに求められる要素などに関する基礎研究

【助成金額】30～50万円

(財)日本科学協会 H19年度笹川科学研究助成

【公募時期】平成18年10月1日～平成18年10月13日(必着)

【問い合わせ】<http://www.jss.or.jp/sasagawa/apply/apply.html>

【助成対象】人文科学、社会科学および自然科学(医学を除く)

A.学術研究部門(A.35歳以下(H19.4.1現在)大学院生を含む) B.実践研究部門

【助成金額】A.上限100万円 B.上限50万円/年

(財)全国銀行学術研究振興財団 2006年度研究助成

【公募時期】～平成18年9月30日

【問い合わせ】<http://www.jade.dti.ne.jp/~bankfund/bosyuyoko.htm>

【助成対象】経済・金融及びこれらに関する法制に係る研究

A.研究助成 a.個人研究b.共同研究

B.刊行助成 研究が完成しており完成原稿のあるもの

【助成金額】A.100万円以内(a)150万円以内(b) B.150万円以内かつ刊行費用の半額以下

【応募要件】60歳未満(H18.12.31現在)の教授、助教授、専任講師またはこれらの方を代表者とするグループ

(財)テルモ科学技術振興財団 H19年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年9月25日

【問い合わせ】<http://www.terumo.co.jp/zaidan/recruit/index.html>

【助成対象】A.特定研究助成 生体成分・細胞・合成薬剤等を組入れたCombined Devices

B.一般研究助成 医療用先端材料、再生医療など

【助成金額】A.原則3年 A.1千万円/年 B.H19年度 B.100万円

(財)河川環境管理財団 H18年度調査研究助成

【公募時期】～平成18年9月30日

【問い合わせ】<http://www.kasen.or.jp/cb0707/index.html>

【助成対象】河川環境の美化・緑化および保全に関する調査および研究 原則1年 2年まで延長可

【助成金額】上限200万円/件

(財)全労済協会 H18年度委託調査研究公募

【公募時期】～平成18年10月31日 17:00(着)

【問い合わせ】http://www.zenrosaikyoukai.or.jp/thinktank/research_03.html

【助成対象】A.格差問題 B.ライフスタイルの多様化に伴う福祉の課題 H19.1～ 最長2年

【助成金額】総額500万円

【応募要件】大学院博士課程在籍者を含む

(独)科学技術振興機構 H18年度バイオインフォマティクス推進事業研究開発課題募集

【公募時期】～平成18年9月12日(消印有効)

【問い合わせ】http://www-bird.jst.go.jp/application/18_2/index.html

【助成対象】情報生物学に関する創造的な研究開発 原則3年

【助成金額】2～3千万円/年

(財)セコム科学技術振興財団 H18年度研究助成

【学内締め切り】～平成18年9月19日

【問い合わせ】http://www.secom.co.jp/zaidan/info_h18oubou.html

【助成対象】国民生活の安全確保、災害防止等国民生活に密着した長期かつ大型の研究・開発等(社会科学的研究を含む)

【助成金額】1千～3千万円/年 3～5年

(財)飯島記念食品科学振興財団 H18年度学術研究助成

【学内締め切り】～平成18年10月10日

【問い合わせ】(財)飯島記念食品科学振興財団 047-323-5580

【助成対象】米麦その他主要食糧等を原料とする食品の流通、加工並びに食品科学に関する研究等

A.個人研究(助教授、講師及び助手などの若手研究者) B.共同研究

【助成金額】A.100～200万円/件 B.200～500万円/件

3. 今後の予定

奈良経済同友会との懇談会

【会場】コラボレーションセンター 3階 (Z306・Z307教室)

【開催日】平成18年10月2日(月)

【開催時間】15時～17時 (17時30分から懇親会: 共済会館 やまと)

奈良経済同友会会員様は、30～40名の参加予定と聞いております。

【プログラム】

15:00 開会挨拶 奈良経済同友会代表幹事(岡村印刷工業(株)取締役社長)岡村元嗣
挨拶 奈良女子大学長 久米健次
産学官連携の現状と奈良女子大学の取組状況 産学官連携コーディネーター藤野千代

15:50 奈良女子大学 研究内容講演

・商店街の活性化、地域経済の活性化への大学の取り組み

～正倉院展を中心とした地域活性化の取り組み、現代GPによる教育改革と地域貢献など～
大学院人間文化研究科 中山徹助教授

・新しい視点から生命の起源を考える - [GADV]・タンパク質ワールド仮説 -
理学部 池原健二教授

16:50 記念館見学 見学 百年ピアノ鑑賞 理学部生物科学科4回生 角田理絵さん

第5回元気企業ビジネスフェアNANTO出展(主催:南都銀行/南都経済センター)

【会場】マイドームおおさか

【開催期間】平成18年10月26日(木)・27日(金)

【開催時間】26日/10時～17時 27日/10時～16時



第4回研究フォーラム(主催:産学官連携推進部門、共催:南都経済センター)

【全体テーマ】奈良の文化資源とその配信 ～自然科学と人文科学の調和のとれた産学官連携へ～

【会場】コラボレーションセンター 3階 (Z306・Z307教室)

【開催日】平成18年11月2日(木)(学園祭初日)

【開催時間】13時30分～17時

詳細は次レターにて掲載します。

奈良には、こんな面白い祭があったのか! ～祭礼動画アーカイブの構築と情報発信～
文学部 武藤康弘助教授

つながりを育む特産物 ～ある伝統薬の事例から～
文学部 寺岡伸悟助教授

外からみた奈良観光 ～何を配信するのか～
NHK奈良放送局 森秀人局長

平城遷都1300年記念行事～西暦2010年、歴史文化の祭典を開催～
平城京遷都1300年記念事業協会 広報戦略 田中賢一課長

GISで描く都市環境
文学部 石崎研二助教授